

長島文芸

明神俳句会

夏の山母のぬくみの夕陽さす
雨やんでどつかと近く夏の山
見え初めし嬰の黒目がち風薫る
歓迎に鯉頭の胡座かな
学級園整して春を惜しみけり
次ぎ次ぎに咲く花のあり夏の山
花柄のスカートゆれて風薫る

山寄加代子
二階堂妙子
淵脇 護
筑前 初市
迫口 君代
大堂 早苗
関 佳代美

長島短歌会

留守の戸に友置きくれし獲りたての春馬鈴薯は匂
やかなり
人の手の及ばない恵み地にあふれ大根の花広びろ
と咲く

松元 睦子
吉田 映子

町立図書館おすすめBOOK

新刊紹介

図書館に置いてある最新本の中から
おすすめのをピックアップ。
バラエティーに富んだ
新刊を紹介します。

町立指江図書館 / 電話 0996-88-6500



ココロノウタ

今井 絵里子 著

「どんな時も笑ってしようね」聴覚障害の息子と歩んできた4年間と、これからの願いを綴ったココロつなぐエッセイ集です。

町立鷹巣図書館 / 電話 0996-86-1111

おかあさんのパンツ

山岡 ひかる 著



女の子のパンツをお母さんが見たら・・・。お母さんから「しつれいしちゃう」という声が聞こえてきそうだけど、子どもはとてもよろこびます。とても楽しい本です。

葉桜に鷹巣城の色映ゆる伊唐島山真向ひに見ゆ

市尾 操

朝日射す電線に止まり鳴き合ひて毛づくろい等する番の燕

岩下 ち江

竹林親竹子竹穂の並ぶ辺りの里家に鯉幟たつ

岩下 房代

片麻痺の友訪ね来て吾が夫に妻を愛しめと論してゆけり

樫平 頼子

名を呼べば右手を上げて走り来る孫の笑まひに心支ひたり

米尾 和子

幼児は泣きつつ目覚むわが曾孫静寂を破るいとほしき声

坂ノ下典子

幼き日枇杷の木に登り甘き実を共に食ひたる亡妹なつかし

中山タマエ

吹上の白砂浜にて掘りし貝拉致されし二人忍び頂
く
吾が島に若葉の山並続きみて白き風車は長閑にま
わる
わが庭に出でて見下ろす春の潮引きつつ夕つ日に
輝けり
本田 幸子

一般作品

俳句

青梅やおちたるままの空家など
桐の花孕む娘を祝ぐ島の家
桐野 眞実

短歌
歩く道心ろ正しく成すなれば成す事などは間違なきや
町田 末則

さわさわと蓮の葉ゆらす池の亀まだまだ自然残りてゆたか
中飯屋辰子